

〔茅窓漫錄上〕舍利并バサル

佛者のいふ舍利は、翻譯名義、金剛明經、法苑珠林等に多く載せて尊重せしより、此邦にも永觀律師が舍利講式、妙幢が舍利驗論、亮汰が舍利禮科注などに、佛者より至寶奇瑞の事さまぐに傳はれど、是は獸畜魚介にも多くあるものにて、實は病癬の凝渴したる物なり、獸畜にある者は、本草綱目に載せたる鮓答なり、其色白黒黃赤ありて、一樣ならず、人にある者は、火燒する故に多くは瑩白なり、狗にあるを狗寶といひ、猿にあるを猿棗といひ、猪にあるを猪臘といふ、其中馬に多くある者なり、至りて大なるは毬鞠のごとく、小なるは木樓子のごとし、其形も一樣ならず。○中略

馬、狗、猿、猪の類、此病癬あるときは、此獸にもあるべし、一物には限るべからず、浪華秉霞堂に、バサル獸を寫眞せしあり、圖のごとし。○中略

外に一種阿媽港より渡す大舍利あり、是は鮓答にあらず菩薩石なり、本草綱目にも見えて、嘉州峨眉山より出だす事、諸書に多く見ゆ、此邦にては能登國鳳至郡菩薩谷より出づる者、色黃にして長一寸許、又大和國反田よりも出づ、又對馬の六万石も同種なり、

〔倭名類聚抄牛馬病〕斃 四聲字苑云斃多布流反、訓死也。

〔箋注倭名類聚抄牛馬病〕所引文國語晉語注、呂覽圓道篇注同、按說文無斃、有斃云斃也、一曰敗衣、轉注爲凡敗之稱、後從死作斃也。

〔塵袋四〕一斃ト云フハ獸ノシヌルニ限ル字歟

常ニハ其心也、但魯顏高タ、カヒノニハニ、人弓ヲ奪フニ籍丘ノ子鉏ト云フモノ、是ヲウチタヲス、其タウルニハ、斃ノ字ヲ用フ、是ハ死ニハ非ズ、タマタウル也、注ニ斃ハ仆也ト云ヘリ、顏高フシナガラ子鉏ヲイコロシツ、ソレヲイフニハ殮ト云ヘリ、是シヌル也、注ニハ子鉏死也ト云ヘリ、左傳ニ晉ノ驪姬ガ胙ニ毒イレタル事ヲ云フ所ニ、犬子ニアタフルニ犬子斃、小臣ニアタフル